



$a_{n+1} = f(n)a_n + g(n)$ 型の漸化式

命題. $f(n)$, $g(n)$ を n の関数とし, 任意の $n \geq 1$ に対して, $f(n) \neq 0$ であるとする. 漸化式

$$(i) a_1 = a, \quad (ii) a_{n+1} = f(n)a_n + g(n)$$

で定義される数列 $\{a_n\}$ の一般項は,

$$a_n = a \prod_{k=1}^{n-1} f(k) + \frac{1}{f(n)} \sum_{l=2}^n g(l-1) \prod_{k=l}^n f(k) \quad (n \geq 2) \quad (1)$$

と表せる.

証明の前に, 上の命題の特別な場合をまとめておく.

系 1. 上の命題の状況で, $g(n) = q$ が定数であるとき, すなわち, 漸化式

$$(i) a_1 = a, \quad (ii) a_{n+1} = f(n)a_n + q$$

で定義される数列を $\{a_n\}$ とするとき, その一般項は,

$$a_n = a \prod_{k=1}^{n-1} f(k) + \frac{q}{f(n)} \sum_{l=2}^n \prod_{k=l}^n f(k) \quad (n \geq 2) \quad (2)$$

と表せる.

系 2. 上の命題の状況で, $a_1 = a = g(0)$ であるとき, すなわち, 漸化式

$$(i) a_1 = g(0), \quad (ii) a_{n+1} = f(n)a_n + g(n)$$

で定義される数列を $\{a_n\}$ とするとき, その一般項は,

$$a_n = \frac{1}{f(n)} \sum_{l=1}^n g(l-1) \prod_{k=l}^n f(k) \quad (3)$$

と表せる. (これは $n \geq 1$ に対して成り立つ.)

系 3. 上の命題の状況で, $g(n) = q$ であり, $a_1 = a = q$ であるとき, すなわち, 漸化式

$$(i) a_1 = q, \quad (ii) a_{n+1} = f(n)a_n + q$$

で定義される数列を $\{a_n\}$ とするとき, その一般項は,

$$a_n = \frac{q}{f(n)} \sum_{l=1}^n \prod_{k=l}^n f(k) \quad (4)$$

と表せる. (これは $n \geq 1$ に対して成り立つ.)

命題の証明. $n \geq 1$ に対して,

$$F(n) = \prod_{k=1}^n f(k)$$

とおくと, 仮定から $F(n) \neq 0$ である. 漸化式 (ii) の両辺を $F(n)$ で割ることにより, 等式

$$\frac{a_{n+1}}{F(n)} = \frac{f(n)a_n}{F(n)} + \frac{g(n)}{F(n)}$$

を得る. これから, $n \geq 2$ に対して,

$$\frac{a_{n+1}}{F(n)} = \frac{a_n}{F(n-1)} + \frac{g(n)}{F(n)} \quad (5)$$

が成り立つ. ここで, $n \geq 2$ に対して, 数列 $\{b_n\}$, $\{c_n\}$ をそれぞれ

$$b_n = \frac{a_n}{F(n-1)}, \quad c_n = b_{n+1} - b_n$$

で定義すると, (5) から,

$$c_n = \frac{g(n)}{F(n)}$$

が成り立つ. $\{c_n\}$ は, 数列 $\{b_n\}$ の階差数列なので, 一般項の公式から, $n \geq 3$ に対して,

$$b_n = b_2 + \sum_{l=2}^{n-1} c_l = \frac{a_2}{F(1)} + \sum_{l=2}^{n-1} \frac{g(l)}{F(l)} = a + \frac{g(1)}{f(1)} + \sum_{l=2}^{n-1} \frac{g(l)}{F(l)} = a + \sum_{l=1}^{n-1} \frac{g(l)}{F(l)}$$

であるが, 最後の式は, $n = 2$ に対しても成り立つ. $\{b_n\}$ の定義式から, $\{a_n\}$ の一般項は,

$$a_n = F(n-1)b_n = aF(n-1) + \sum_{l=1}^{n-1} \frac{F(n-1)}{F(l)} g(l)$$

と計算できる. さらに, $n-1 \geq l$ に対して,

$$\frac{F(n-1)}{F(l)} = \frac{1}{f(n)} \cdot \frac{F(n)}{F(l)} = \frac{1}{f(n)} \cdot \frac{\prod_{k=1}^n f(k)}{\prod_{k=1}^l f(k)} = \frac{1}{f(n)} \prod_{k=l+1}^n f(k)$$

が成り立つことに注意すると,

$$\begin{aligned} a_n &= aF(n-1) + \sum_{l=1}^{n-1} \frac{1}{f(n)} \prod_{k=l+1}^n f(k) g(l) \\ &= aF(n-1) + \frac{1}{f(n)} \sum_{l=1}^{n-1} g(l) \prod_{k=l+1}^n f(k) \\ &= aF(n-1) + \frac{1}{f(n)} \sum_{l=2}^n g(l-1) \prod_{k=l}^n f(k) \end{aligned}$$

と計算できる. これが求める一般項である. □